

緊急事態宣言解除後の食生活に 関するアンケート結果 (2020年10月時点)

2020年12月24日

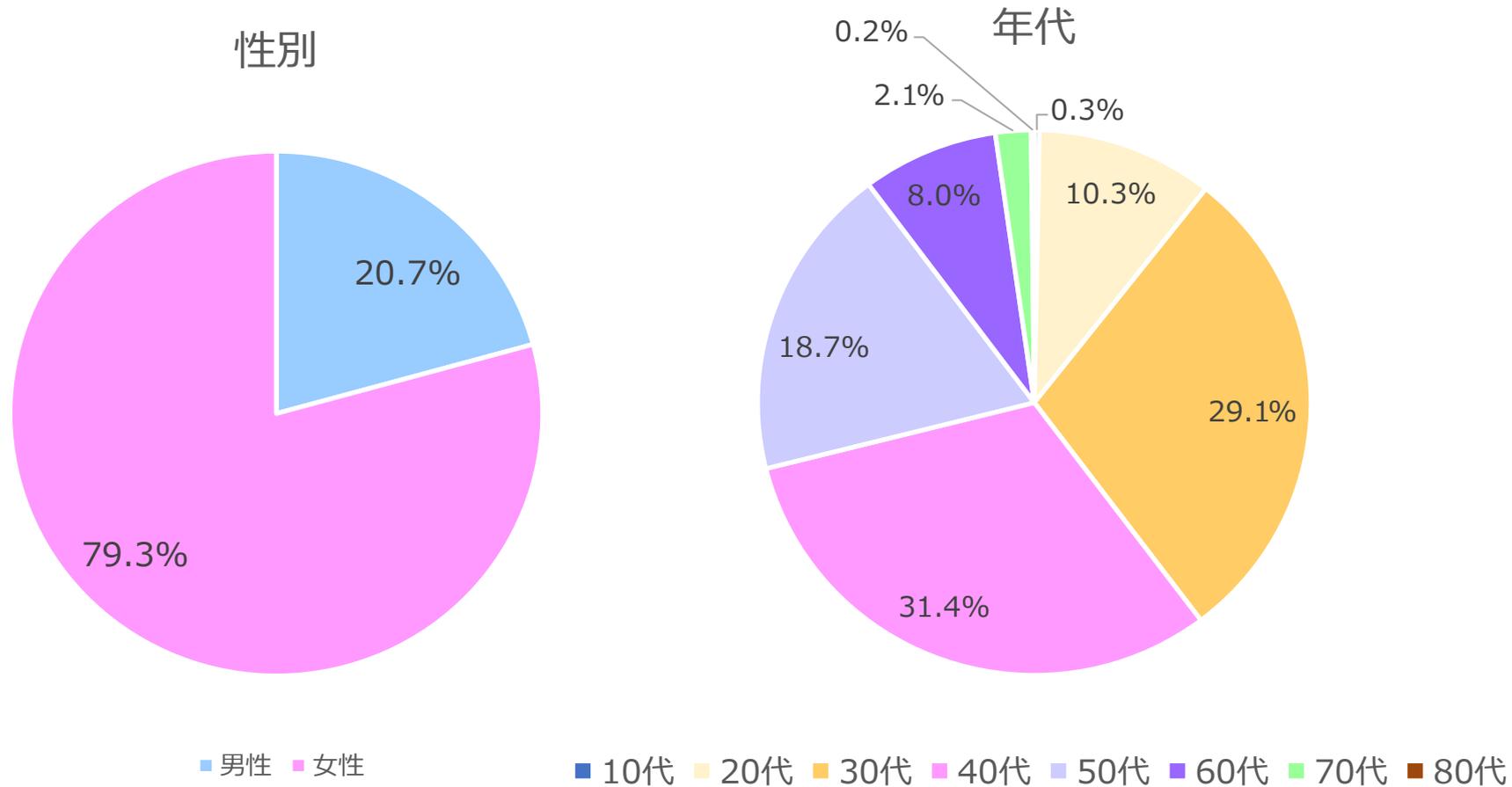
国立循環器病研究センター
かるしお事業推進室

かるしおモニター申込者の性別・年代内訳

実施日：2020年10月5日～10月22日

対象：かるしおHPにてかるしお認定商品のモニターに応募いただいた方

有効回答者：1,682名



8割が女性で、30～40代の年齢層が多く、ついで50代が多かった。

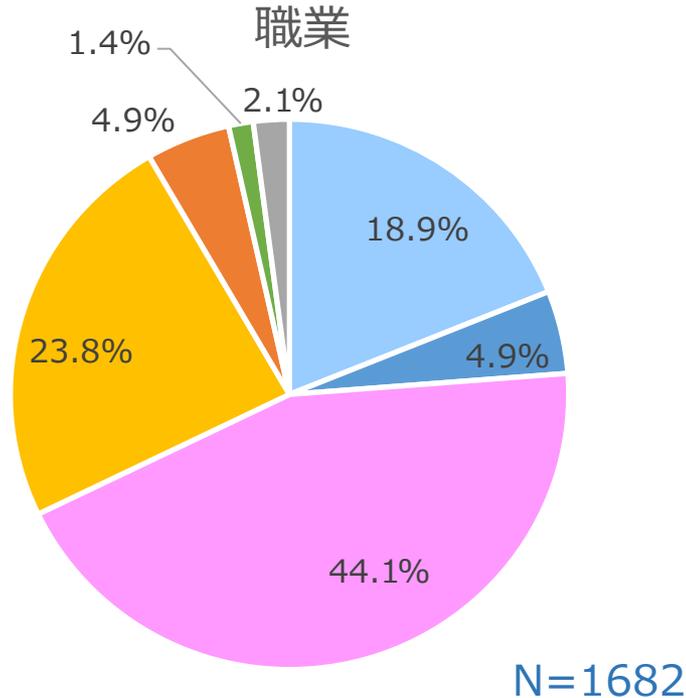
N=1682

都道府県内訳

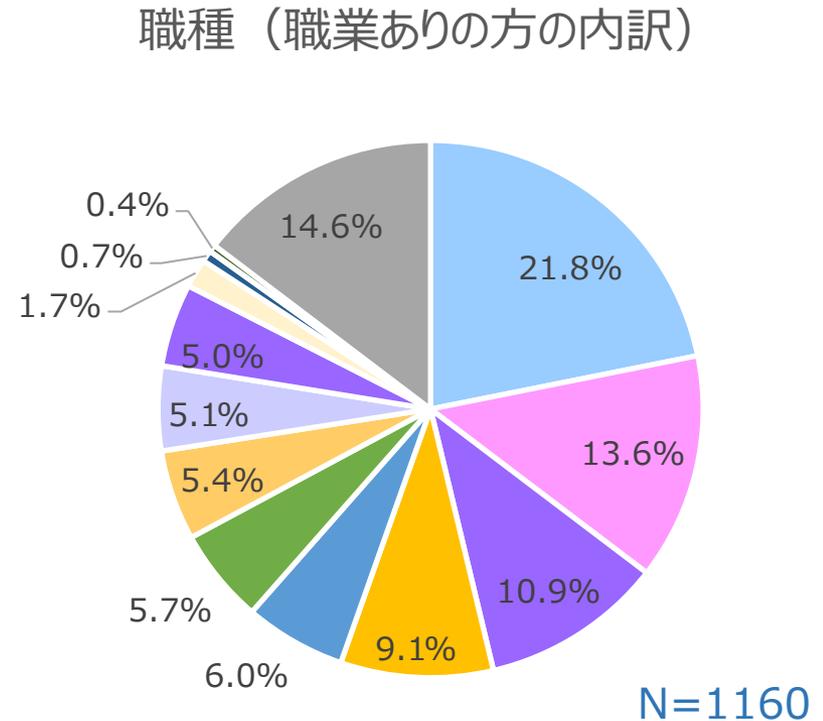


大阪が最も多く、次いで東京都、兵庫県となり
47都道府県の全ての地域から応募があった。

N=1682



- 職業あり*パートタイムを含む(この数ヶ月ほどの間に在宅勤務または在宅勤務と出勤を併用)
- 職業あり*パートタイムを含む(この数ヶ月ほど時差出勤または時短勤務)
- 職業あり*パートタイムを含む(通常勤務)
- 専業主婦・主夫
- 無職
- 学生
- その他

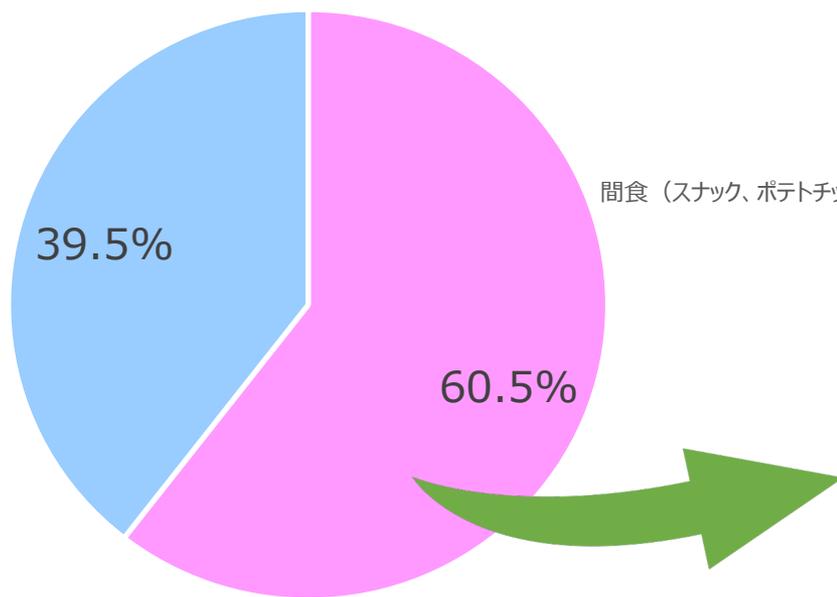


- サービス関係
- 製造関係
- IT関係
- 自治体・行政関係
- 自営業またはフリーランス
- 出版・報道関係
- その他
- 医療関係
- 教育関係
- 食品関係
- 流通関係
- 研究関係
- イベント関係

2020年10月時点では2割程度が在宅勤務や時差出勤、時短勤務などを利用していた。

Q 緊急事態宣言解除後、
食生活は変わりましたか？

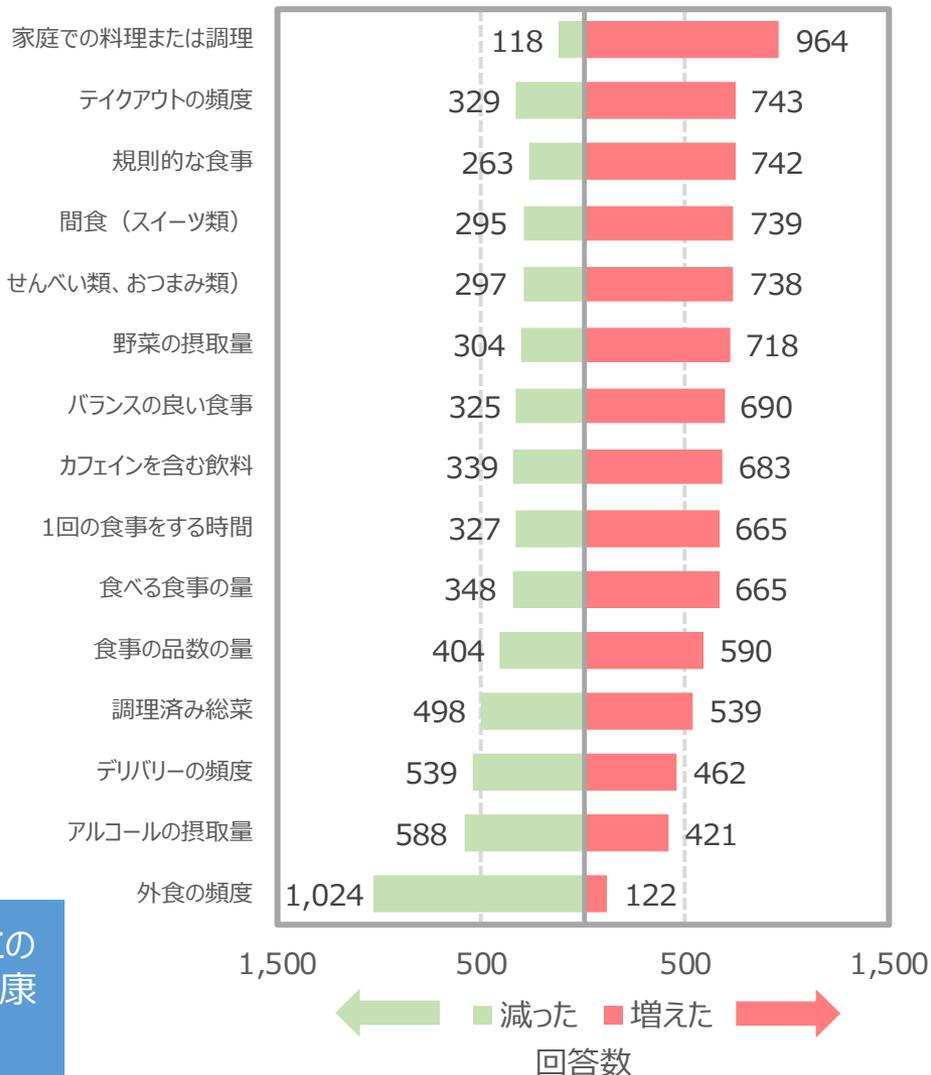
Q はいとお答えした方にお聞きます。緊急事態宣言解除後、下記の食生活でどのようなことが変わりましたか？当てはまるものをそれぞれお選びください。



N=1682

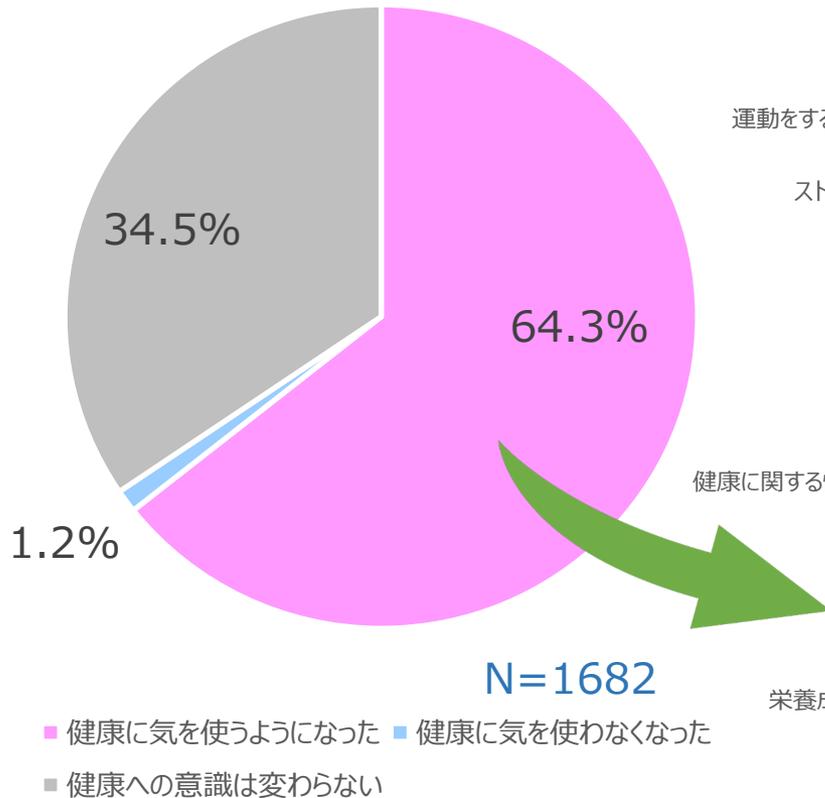
- はい
- いいえ(緊急事態宣言後と同じ食生活を続けている)

緊急事態宣言解除後は、6割が食生活が変わったと回答し、このうち家庭での調理増えた方や規則的な食事などが増えており健康的な食事をとることを意識していると考えられる。



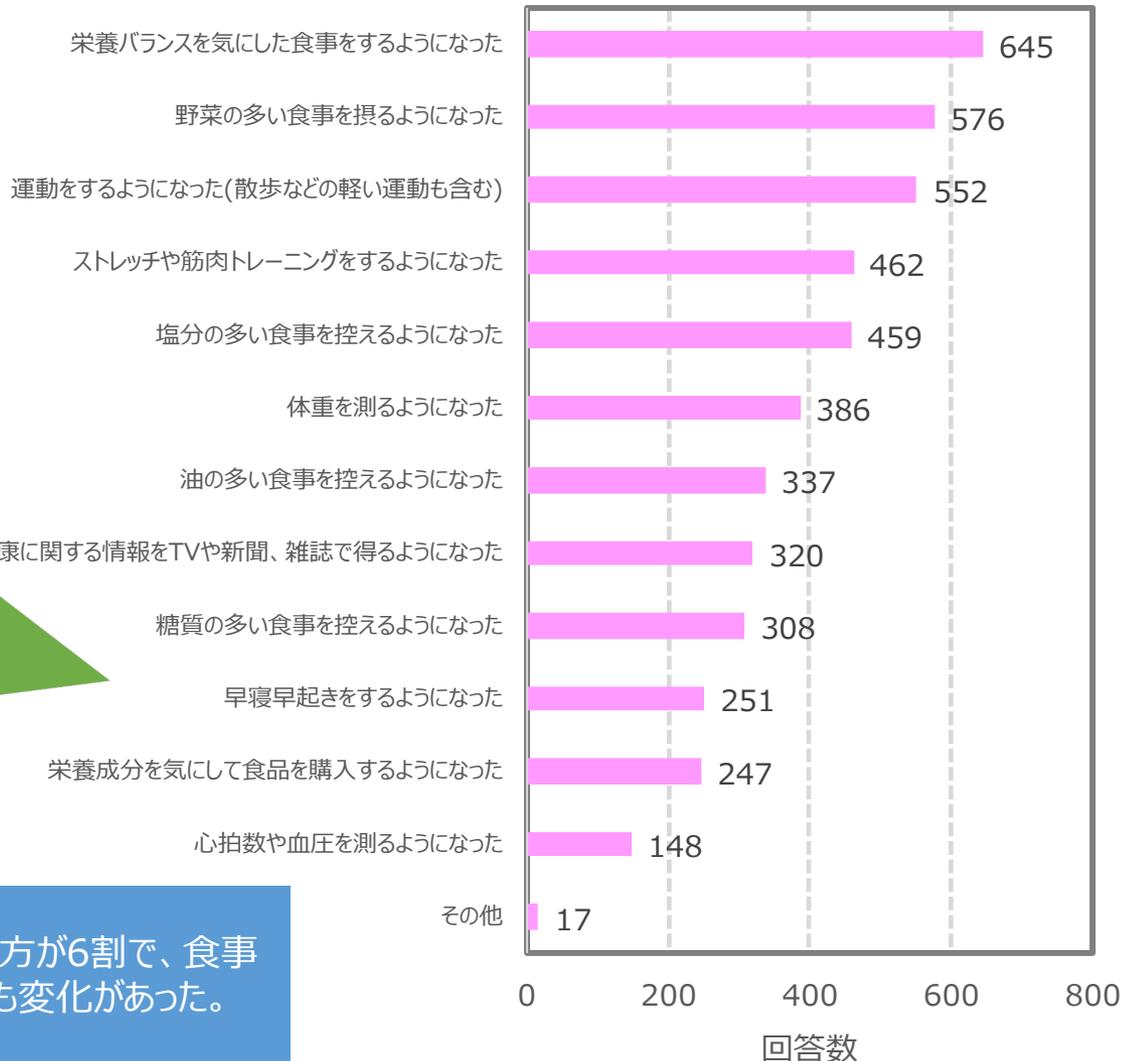
← 減った 増えた →
回答数

Q 緊急事態宣言以降、健康への意識は変わりましたか？



緊急事態宣言以降から健康に気を使い始めた方が6割で、食事だけでなく運動、情報収集などの行動変容へも変化があった。

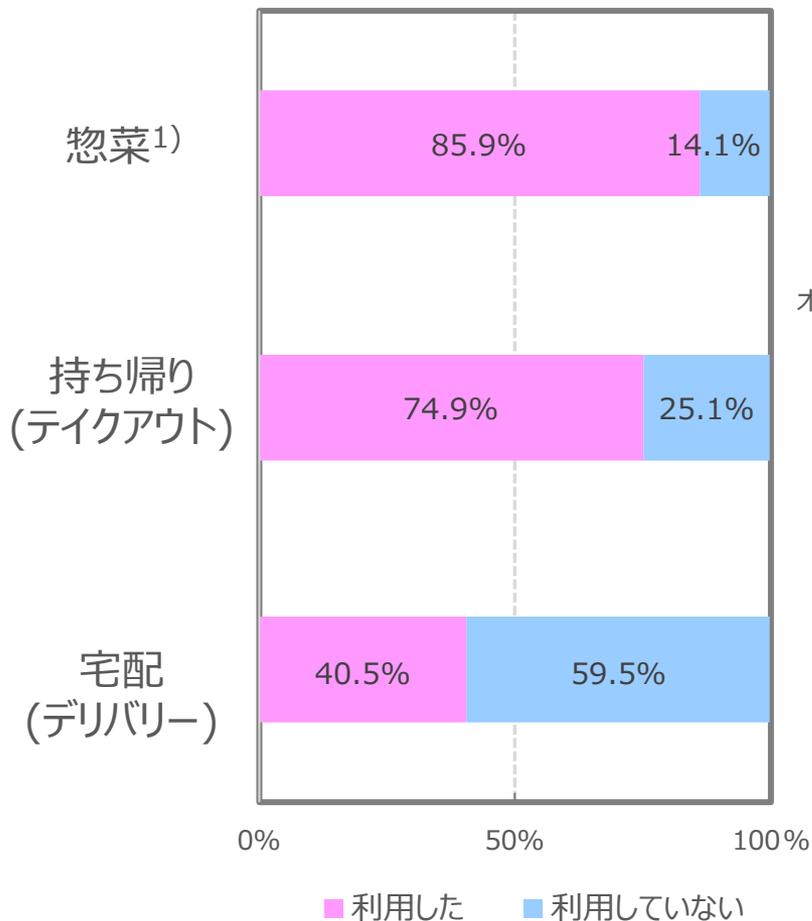
Q 「健康に気を使うようになった」とお答えされた方にお聞きます。下記について当てはまるものをお選びください。(複数回答可)



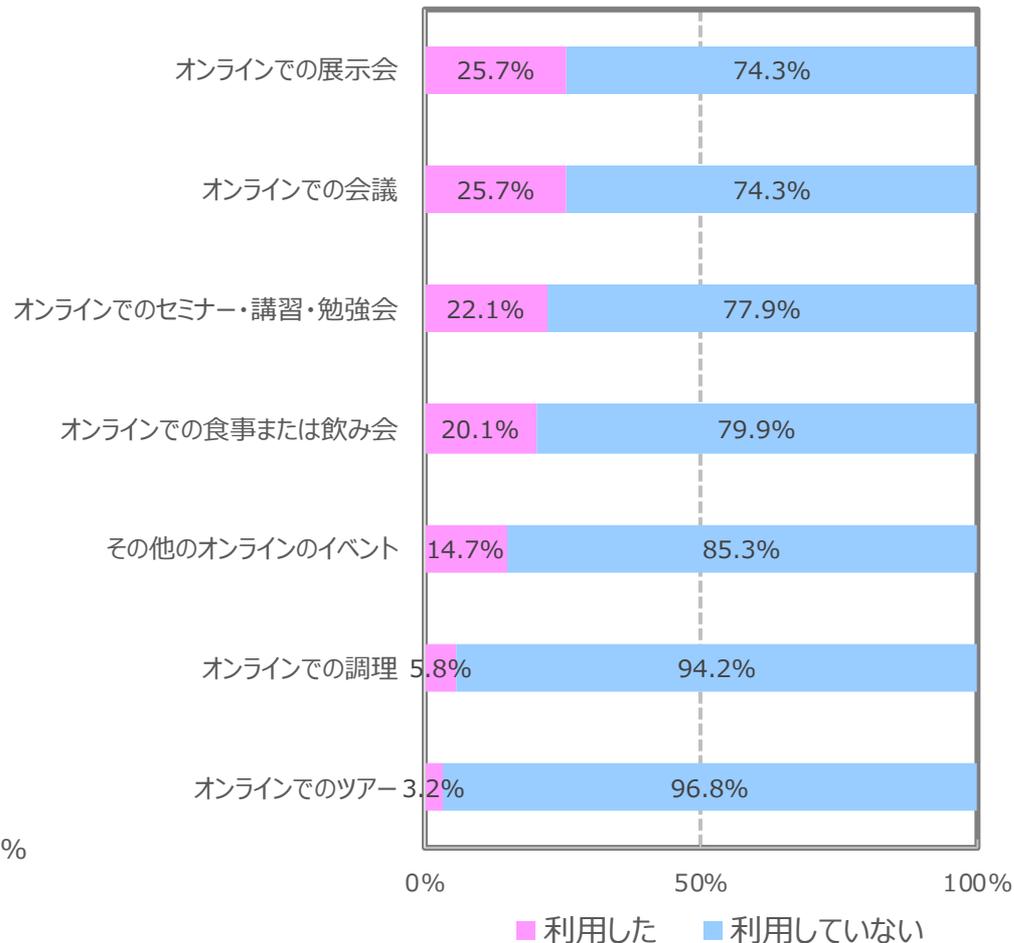
中食やオンラインの利用状況について

Q ここ数ヶ月(2020年6月～9月)で下記のサービス等を利用しましたか？

中食の利用率



オンラインの利用率



中食は惣菜、持ち帰りの利用率が高い傾向にある。
オンラインの利用率については3割程度にとどまっている。

N=1682

1)スーパーやコンビニなどで購入できる中食

販売チャネルごとの食品カテゴリ別ランキング

Q 現在、食品の買い物はどこでどのようなものをご購入していますか？

複数回答

スーパー

ドラッグストア

コンビニエンスストア

インターネット

1位

生鮮食品
(1,609名)

飲料
(486名)

飲料
(435名)

飲料
(203名)

2位

レトルト食品
(1,253名)

インスタント食品
(475名)

菓子類
(433名)

米類
(133名)

3位

インスタント食品
(1,249名)

菓子類
(474名)

パン類
(359名)

レトルト食品
(122名)

4位

缶詰
(1,239名)

レトルト食品
(423名)

調理済みの食品・惣菜
(278名)

インスタント食品
(103名)

5位

加工肉
(1,133名)

パン類
(269名)

インスタント食品
(222名)

缶詰
(85名)

N=1682

買い物はスーパーの利用者が最も高く、スーパー以外の販売チャネルで飲料品が最も多く購入され、特にインターネットでは、米類など持ち運びしにくい商品や保存期間の長い商品を購入している。